

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーション I
対象	全スタイル	年次	2
添削指導(回)/年	9	面接指導(単位時間)	12
単位数/年	3	備考	必履修科目
教科書・補助教材等	All Aboard! English Communication I (東京書籍)		
学習の目的	積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 言語や運用についての知識を身に付け、背景にある文化を理解することができる。		

レポート	学習内容	学習のねらい・目標
1	Lesson1 Lesson2	世界で食べられている朝食について知る。 普段の朝食や理想的な朝食について英語で述べるための表現を学習する。 好きな動物について、接続詞 because を用いて理由を述べる ことができる。 現在進行形について理解し、肯定文・否定文・疑問文の組み立て方を押さえる。
2	Lesson3	助動詞 can を用いて自分ができることについて述べる ことができる。 命令文を用いて交通手段の案内をすることができる。 助動詞 will について理解し、自分の意志や未来のことについて表現できるようになる。
3	Lesson4	to 不定詞の名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法について理解する。 want と to 不定詞の名詞的用法を用いて「今週末にやりたいこと」について表現できるようになる。
4	Lesson5 Reading1	動名詞について理解する。 動名詞やto 不定詞を用いて自分の好きなことや将来の夢について英語で表現する。 enjoy Ving を用いて「先週末に楽しんだこと」について表現できるようになる。
5	Lesson6	受け身について理解する。 人や物に焦点を当てて受け身を用いて描写することができるようになる。

6	Lesson7	比較級について理解する。 2つ以上のものを比べて説明することができるようになる。
7	Lesson8	現在完了形について理解する。 現在完了の経験用法を用いて「～したことがある」という自分の経験を述べられるようになる。 助動詞 can を用いて自分の開発する夢のロボットができることを英語で表現する。
8	Lesson9	名詞を後ろから説明する分詞(後置修飾)について理解する。 現在分詞と過去分詞の違いを把握する。
9	Lesson10	関係詞[関係代名詞 who, which, that]について理解する。 関係詞を用いて人や物について説明を加えることができるようになる。

学習上の留意点	文法項目はざっくり理解してから、あとはとにかく使う練習をし、学んだ文法項目を使って英作文をすることをゴールにする。長文訳読には時間をかけず、音読やリスニングに重点を置く。	
評価の観点		評価方法
主体的に学習に取り組む態度	積極的に英語を学び、何度間違えても自分で正解まで辿り着こうとする。何度も英語を聞こうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業中の態度 ・ノート・レポートの評価 ・授業への取り組み 以上4点を総合的に判断し、5段階で評価する。
思考・判断・表現	日本語と英語の違いを比較して、言語に関する視野を広げ、日本語への認識を深める。	
知識・技能	学んだ英文法を使って自由に英文を作ることができる。英語を聞いて、意味を理解することができる。英文を正しい発音で読むことができる。 英文法の基礎知識を身につける。学んだ英単語の意味と発音を習得し、使いこなすことができる。	